

孫育ての心得

♪エピソード♪

初めての出産を控えているヒトミさんとケンジさん夫婦のもとに、ヒトミさんの実家のお父さんとお母さんが様子を見にやってきました。

お母さん : 「体の調子はどう？」

ヒトミさん : 「最近は、つわりも落ち着いてきたわ。赤ちゃんの体重も順調だって。」

お父さん : 「それは安心だね。赤ちゃんが生まれたらヒトミもいろいろと大変だろうから、私が赤ちゃんの面倒を見に来ようか？」

お母さん : 「お父さん、ヒトミの時にはおむつも替えたことがなかったじゃないの。赤ちゃんの面倒なんて見られるの？」

お父さん : 「それは、これから勉強しようかと…。」

ヒトミさん : 「お父さん、ありがとう。でも、ケンジさんも育児休暇をとってくれるから、赤ちゃんのお世話をしてもらおうと思っているの。」

ケンジさん : 「もちろん、僕もこれから本格的に赤ちゃんのお世話の仕方を勉強しないとイケないんですけどね。困ったときには、ぜひ、お父さん、お母さんの手を貸してください。」

赤ちゃんが無事に生まれてくることを思いながら、みんなで笑い合いました。

- ① おじいさん、おばあさんになる（なっている）あなたは、出産を控えた息子さん（娘さん）夫婦や、お孫さんのためにどんなことをしてあげたいですか。（してあげたかったですか。）



② 息子さん（娘さん）夫婦の立場だったら、どんなサポートをしてほしいと思うでしょうか。



③ おじいさん、おばあさんとして、どのように息子さん（娘さん）夫婦と赤ちゃんに接していくことが大事だと思いますか。



資料

サポートするときのポイント！

子育ての大先輩であるおじいちゃん、おばあちゃんはとても心強い存在ですが、子育ての主役はパパとママ。

ぎこちなくて危なっかしい様子から、つい、いろいろと手伝ってしまいたくなりますが、祖父母はあくまでもサポーターです。そっと見守り、無理のない範囲でサポートしましょう。

また、なれない赤ちゃんとの生活で、パパ・ママは不安に感じてしまいがちです。「大丈夫、いい子に育てているよ」とメールを送ってあげてください。

- ★ パパ・ママの子育て方針を聞く。
(子育てに口を出さない)
- ★ 「ここは任せて」「これは手伝って」というような、お互いの領域をきちんと伝え合う。
- ★ できないこと・やりたくないことはっきり話しておく。
- ★ 自分たちのライフスタイルを大切に、体力と相談しながらがんばりすぎず楽しむ。
- ★ 困ったときの「知恵袋」の存在と思う。
- ★ 緊急・急用時に対応できるように、日頃から孫の情報を共有しておく。

